

DT16 ナイトロジエンマスター(HN-1、HN-2、HN-3)



実寸(約10cm)

感度	1 mg/m ³
吸引量	ハンドポンプ 30 回吸引(1 回 100 mL), 自動ポンプ 3 リットル(3L)
色変化	ナイトロジエンマスターが存在する場合: 黄色からオレンジ色に変色します。
	 →  ... 
	1 mg/m ³ 10 mg/m ³
反応原理	ドラゲンドルフ試薬[Dragendorff's reagent] との反応
解説	検知管は1つの指示層と1つのアンプル(試薬溶液入り)で構成されています。指示層は活性シリカゲルで形成され、アンプルにはドラゲンドルフ試薬[Dragendorff's reagent]が含まれています。
検出方法	①検知管の両端を折る。 ②ハンドポンプで30回(1回100mL)または自動ポンプで3L空気を送る。 ③アンプルを割る。 ④よく振り、アンプル内の薬剤を指示層に浸す。 ⑤色の変化を確認する。
選択性	この検知管を使用すると、すべてのタイプのナイトロジエンマスター[nitrogen mustards](HN-1、HN-2、HN-3)を検出できます。他のCWAのうち、BZ、フェンシクリジン[phencyclidine]、CR、VXも同様に反応します。
干渉性	アルカロイド[alkaloids]、アミン[amines]、ピリジン[pyridines]など、CWAではありませんが、色反応を示す可能性がある。
温度	10~50 °C (10 °C以下では加熱が必要)
湿度	依存せず(反応過程で水が含まれるため)